

令和5年度行政評価一覧表(別紙)

令和5年度行政評価の二次評価が「4.現状維持」以外の評価となった項目を抜粋し、令和6年度の方性の概要について記載。

項番	基本目標	基本施策	主要施策	主要事業	具体的な取り組み内容	主要事業の主な取り組み	主担当課	KPI指標	単位	基準値年度	基準値	年度別KPI(上段:目標値/下段:実績)					二次評価	
												R3	R4	R5	R6	R7	R6方向性	概要
基本目標1:人と自然が共生し健やかに暮らせるまちづくり																		
3	1	(1)	①	健康運動教室や脳の健康教室など、体も心も元気にする介護予防を推進します	健康無関心層の行動変容を促し、ヘルスケア事業に参加してもらうことで、参加者一人ひとりの健康増進や生活習慣病重症化予防を図り、医療費の抑制に努めます。	SIBヘルスケア事業による医療費抑制	健康福祉課	健幸ポイント・生活習慣病予防プログラム参加による医療費抑制額	千円	R1	-	29,100	35,100	-	-	-	6.廃止	SIBヘルスケア事業の終了に伴い計画通り廃止するもの。
					医療費抑制に繋がるヘルスケア事業を行うと同時に、その効果が相乗的に向上するようプログラム参加者の増加を図ります。	SIBヘルスケア事業への参加者増加	健康福祉課	健幸ポイント・生活習慣病予防プログラムへの参加者数	人	R1	3,150	3,100	3,150	-	-	-		
4												3,120	3,413	-	-	-		
基本目標2:産業が元気で活力あるまちづくり																		
56	2	(4)	①	多様な働き方を支援します	就業や労働環境等に関する様々な相談を相談を受け付け、多様な働き方を支援します。	専門相談員による相談室開設	地域経済課	専門相談員による相談受付件数	件	R1	536	500	500	500	500	500	3.拡大(費用)	子育て中の女性などフルタイム勤務や自宅以外での勤務が困難な方に対してテレワークを推進し、柔軟で多様な働き方を推進するための事業を民間事業者に委託する。
												500	544					
基本目標3:安全安心な暮らしやすいまちづくり																		
87	3	(4)	④	歩行者と車が共存できるよう安全に配慮した道路整備を推進します	駅と市内の主要な交流施設を徒歩で結ぶまちなか散策路を整備し、歩くまちづくりの推進を図ります。併せて、路面サイン等にQRコードを埋め込みコースマップをwebサイト上で確認できることで、スマホで簡単に参加できる環境を構築します。	歩車道共存整備(まちなか散策路・ゾーン30・グリーンベルト事業)	都市環境課	まちなか散策路の整備箇所数(5年間の累計)	累計箇所	R2	1	2	3	3	3	3	5.縮小	まちなか散策路の整備は、3ルート(①見附駅⇄ネーブルみつけ、②ネーブルみつけ⇄ほつとびあ、③見附駅⇄イングリッシュガーデン)で一時終了し、まちなか散策路の活用を促すためのソフト事業に注力する。
												2	3	-	-	-		
89	3	(5)	①	地域公共交通機関の整備や連携強化を図ります	公共交通を利用して気軽に移動ができるように、各種交通手段の連携強化や運行ルートの改善等を図り、公共交通空白地域の解消を進めます。	コミバス運行ルートの改善、公共交通網形成計画の見直し	都市環境課	公共交通空白地域の解消率	%	R2	92.6	93	94	95	96	97	3.拡大(費用)	地域公共交通計画の中間見直しに合わせ、公共交通の利便性向上、運転手不足を踏まえた最適化を検討する。
												92.6	98					
90	3	(5)	①	地域公共交通を利用しやすい環境づくりを進めます	コミュニティバスの運行本数の増加により、待ち時間の短縮を図り、利用者の利便性の向上を図ります。	低床バスの導入、見附駅周辺整備事業	都市環境課	バス待ち時間の向上	分	R2	27.9	27	26	25	25	25	3.拡大(費用)	運行台数が減少しているタクシーや将来の減便が懸念されるバスの運転手を確保するため、公共交通事業者に対して第二種免許取得への支援を実施する。
												27.1	26.0					
95	3	(6)	①	優良な宅地の整備を誘導します	市自ら開発する住宅地の分譲を通じて街並みを形成し、健康的に暮らせる住環境のモデルとして周知啓発を図り、優良な宅地の整備を誘導します。	民間による宅地開発の誘導、ウエルネスタウン分譲事業、一戸一灯運動の推進	都市環境課	ウエルネスタウンの分譲数	累計区画	R2	21	25	30	35	40	45	1.拡大(人員+費用)	専門的な知見を有する民間企業の力を活用して、ウエルネスタウンの販売や利活用戦略を見直すため、地域活性化起業者を採用する。
												21	24					
基本目標4:人が育ち人が交流するまちづくり																		
105	4	(1)	①	安全安心に子どもが過ごせる場所の整備など、児童を取り巻く環境の充実を図ります	放課後等に保護者が不在の家庭の小学生が安全・安心に活動できる場所を確保します。	放課後児童クラブや子どもの居場所の整備	こども課	放課後児童クラブ入会希望者数に対する登録児童数の割合	%	R2	90	92	94	96	98	100	1.拡大(人員+費用)	利用希望者の拡大に対応するため、葛巻小学校区では閉園となる反田保育園の一部を改修することで、また新潟小学校区においては既存の園舎を活用することで、それぞれ新たに放課後児童クラブを整備し、受入れ体制を確保する。
												93	97					
107	4	(1)	②	子育て支援センターなど、頼りになる支援拠点づくりとネットワーク化を図ります	子育て家庭の不安感や孤立感を解消することを目的として、日常的に気軽に交流できる遊びの広場を開設します。	子育て支援センター	こども課	あそびの広場利用組数(1日当たり)	組	R1	48	50	50	60	60	60	1.拡大(人員+費用)	子育て支援センター(学校町)において、これまで利用できなかった保育園の在園児についても一時預かりが利用できるよう、対象を拡大する。
												33	39					

令和5年度行政評価一覧表(別紙)

令和5年度行政評価の二次評価が「4.現状維持」以外の評価となった項目を抜粋し、令和6年度の方向性の概要について記載。

項番	基本目標	基本施策	主要施策	主要事業	具体的な取り組み内容	主要事業の主な取り組み	主担当課	KPI指標	単位	基準値年度	基準値	年度別KPI(上段:目標値/下段:実績)					二次評価	
												R3	R4	R5	R6	R7	R6方向性	概要
109	4	(1)	②	地域全体で子育てを応援する環境の整備を図ります	地域全体で子育てにやさしいまちづくりをめざし、ファミリーサポートセンターや赤ちゃんの駅の維持向上を図ります。	ファミリーサポートセンター、赤ちゃんの駅	こども課	この地域で子育てをしたいと思う親の割合(3歳児健診)	%	R1	98	98	98	98	98	98	3.拡大(費用)	新たに策定中のこども・子育てどまんなか条例を踏まえつつ、子育てサービスの充実を図るために、「子ども・子育て支援事業計画」と若者育成と子どもの貧困の課題解決のための「こども計画」を一本化して策定する。
												98	95					
119	4	(2)	②	キャリア教育を推進します	各校の特色を生かした学習活動を展開するためにわくわく見附アクションプランを活用することで、キャリア教育を推進します。	わくわく見附アクションプランの活用	学教教育課	児生共通アンケート「将来の夢や目標をもっていますか」肯定的評価	%	R1	82	80	80	80	80	80	1.拡大(人員+費用)	他者と協働しながら、新しい価値を創造する力など、これからの時代を生きていくために必要な力を育成するために、公立小・中・特別支援学校において官民学が協働して、起業体験、出前授業やアイデアコンテストなどによる「みつけJobチャレ教育」(アントレプレナーシップ教育)を推進する。
												81	79					
134	4	(4)	②	適切な学校施設の維持管理と老朽化対策を推進します	学校施設長寿命化計画に基づき、長寿命化改良や大規模改修を行い、施設の老朽化対策を進めます。	長寿命化計画(R2策定)に基づく老朽化対策	教育総務課	学校施設長寿命化計画に基づく施設の改修	-	-	-	調査	基本設計	基本設計 実施設計	名木野小学校	名木野小学校	3.拡大(費用)	学校施設長寿命化計画に基づき、名木野小学校は、長寿命化工事として、屋上防水や外壁改修の他、トイレ、内装、空調やLED照明更新などを実施(令和7年度完了予定)。見附小学校の部位改修工事として、屋上防水や外壁改修の他、空調やLED照明更新などを実施(繰越明許、令和6年度完了予定)。
												調査	基本構想					
140	4	(5)	③	幼児期の運動促進、ジュニア期の競技力向上、指導者の確保・育成に努めます	子どもたちがスポーツに触れるきっかけ作りや、スポーツを行う場づくりを支援することで、子どもたちのスポーツへの関りを拡大します。	わくチャレ・地域ジュニアスポーツクラブ育成・各種講座の開催	まちづくり課	スポーツ少年団加入率	%	R1	11.97	12	13	13	14	15	1.拡大(人員+費用)	中学生のスポーツの選択肢確保(部活動地域移行)として、休日の体育系部活動の受け入れ先となる運営や指導を行う団体へ活動を委託する。令和6年度は2種目(ソフトテニス、卓球)から5種目(野球、バスケ、バレーボール)を追加)に拡大する。また、文化系の活動においても新たに休日の文化系部活動の受け入れ先となる運営や指導を行う団体へ活動を委託する。
												10.62	10.34					
150	4	(7)	①	市の魅力を高め、定住につながる仕掛けづくりに取り組みます	見附市の定住サイト「ハビネスみつけ」の内容を充実することで、見附市の魅力を発信するとともに、県の首都圏の移住相談窓口などと連携して、移住希望者に対する相談体制を整えます。	ハビネスみつけ運営、県などと連携した相談体制(交通費補助等)	地域経済課	定住サイトアクセス数	件	R1 (H27-R1)	106,387	36,000	37,000	38,000	39,000	40,000	3.拡大(費用)	移住の取組みに関する知見と実績がある民間事業者と連携し、見附の魅力を効果的に届けるための戦略づくりと情報発信などを実施する。また、移住を検討する人が見附を視察する際の負担を軽減するとともに、見附の魅力である生活環境を体験できるようにお試し移住拠点を整備する。
												37,707	31,031					
151	4	(7)	①	市民や地域ぐるみで結婚しやすい環境づくりに取り組みます	しあわせ見附パーティーなどの出会いの場の創出やマリッジサポーターなどの相談体制の構築、さらに県のマッチングサイトの情報提供などにより、結婚を希望する方を支援します。	見附市マリッジサポーター、しあわせ見附パーティー	まちづくり課	幸せみつけパーティー延参加者数+マリサポお見合い延参加者数	人	R1	88	90	90	90	90	90	3.拡大(費用)	新婚世帯に対し、結婚に伴う見附市内での新生活のスタートアップに係る経費に対する支援。令和6年度は対象世帯数を拡大する。また、結婚したい人を応援するため、県のマッチングサービス(ハートマッチにいがた)の入会登録料を補助し、利用促進を図る。
												33	80					
152	4	(7)	②	関係人口の拡大とさまざまな関係づくりの場の創出に取り組みます	見附さぼーたなどの見附の応援団・ファンを増やすとともに、関係を深め、ふるさと納税などの関係人口の拡大につなげます。	見附さぼーた、ふるさと納税	地域経済課	関係人口数(見附さぼーた+ふるさと納税件数)	人	R1	2,434	3,000	3,250	3,500	3,750	4,000	3.拡大(費用)	見附に思いを寄せ、強い関わりを持ってくれる関係人口を増やすため、全年齢を対象とした交流会に加え、若年層のさぼーたを対象とした交流会を新たに開催する。
												4,234	4,313					
153	4	(7)	②	さまざまな場所や分野で見附の魅力を生かした、人と人、地域と地域の交流を推進します	首都圏での交流事業(東京みつけデー)や30歳同窓会、その他若者の交流イベントなどの参加者の増加を図ることにより、交流人口の拡大に取り組みます。	とっておき百選、みつけデー、まちの駅、市外からの来訪、異業種・30歳交流会、コンヒカリオーナー制度	地域経済課	交流人口(東京みつけデー来場者数+30歳の同窓会参加者数+他交流事業)	人	R1	181	190	200	210	220	230	3.拡大(費用)	県主催のUIターンフェアに出展するほか、新たに近隣市町と連携して中越地域での暮らしの魅力を伝えるセミナーを開催し、移住促進を図る。
												19	168					